

令和7年度陸前高田市総合計画推進委員会 議事録

日時：令和7年11月20日(木) 14:00～16:00

場所：陸前高田市コミュニティホール 大会議室

1 開会

(1) 司会進行

企画政策課長補佐 及川 晃一郎

(2) 本日の配付資料

令和7年度陸前高田市総合計画推進委員会次第

令和7年度陸前高田市総合計画推進委員会委員名簿

陸前高田市総合計画推進委員会委員委嘱状（該当者のみ）

陸前高田市総合計画推進委員会について

陸前高田市総合計画推進委員会設置要綱

陸前高田市まちづくり総合計画 体系図（資料1-1）

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況（資料1-2）

2 委嘱状の交付

【企画政策課 及川補佐】

委嘱状の交付について、大変恐れ入りますが、お手元にお配りさせていただいておりますので、ご了承願います。

3 市長あいさつ

【陸前高田市長 佐々木 拓】

陸前高田市長の佐々木拓でございます。

令和7年度陸前高田市総合計画推進委員会に出席いただき、ありがとうございます。

新たに、委員長をはじめとして、役職につかれた方につきましては、これからのご議論等よろしくお願いします。

まちづくり総合計画は、本市における様々な施策を展開するための最上位の計画となっており、本日は、令和6年3月に策定した、令和6年度から令和10年度までの5年間を実施期間とする後期基本計画の初年度である、令和6年度時点での実施状況について、審議いただくということになっております。

令和6年度については思うように進捗してないものや、前期基本計画策定から5年が経過したことを受け、内容のブラッシュアップを行った部分もございます。

特に水産業については海水温の上昇等を原因とする水揚げ量の減少など、厳しい状況が続いており、実施状況にも数字として表れております。

今回の委員会において、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜り、今後の市政運営にしっかりと反映できればというふうに考えているため、総合計画に掲げるまちの将来像の実現に向けて、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 委員等紹介

【企画政策課 及川補佐】

誠に恐れ入りますが、委員の皆様のご紹介につきましては、欠席の委員の方もいらっしゃいますので、お手元にお配りしております名簿によって、ご紹介に変えさせていただきます。

5 委員長、副委員長の選任

【企画政策課 及川補佐】

昨年度の本推進委員会におきまして、委員長に陸前高田市社会福祉協議会会長の佐々木 公一（ささき こういち）様、副委員長に陸前高田商工会会長の伊東 孝（いとう たかし）様を選任したところでございますが、今般、社会福祉協議会の役員変更に伴いまして、佐々木委員長は本推進委員を退任されているところでございます。

本委員会の設置要綱の規定により、本委員会に委員長、副委員長を各1名置くとされておりまして、選出につきましては、委員の皆様の互選によって定めるとされていることから、委員長の選任を行います。

最初に委員長の互選の方法につきまして、委員の皆様からご提案等いただきたいと思います。

何かご提案等はございませんでしょうか。

【熊谷正文委員（陸前高田市観光物産協会会長）】

事務局の方に案があればそれをご提示いただきたいと思います。

【企画政策課 及川補佐】

ありがとうございます。

事務局案というご提案がございましたが、事務局より、委員長のご提案をさせていただいてもよろしいでしょうか。

それでは事務局案でございますが、委員長には今年度より陸前高田市社会福祉協議会会長に就任されております、菊池満夫委員、副委員長には、昨年度に引き続き、陸前高田商工会会長の伊東孝委員にお願いしたいと考えております。

いかがでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【企画政策課 及川補佐】

それではご異議がないようですので、委員長は菊池委員、副委員長は伊東委員にお願いすることに決定いたしました。

それでは菊池委員には委員長席、伊東様の代理としてご出席いただいております磐井様には副委員長席の方にご着席をお願いいたします。

それではここで推進委員会委員を代表いたしまして、菊池委員長からご挨拶をお願いいたします。

【菊池委員長】

ただいま委員長に指名されました、社会福祉協議会の菊池と申します。

前委員長の佐々木公一委員長に代わりまして、委員長を務めさせていただきます。

委員の皆様方のご協力をいただきながら進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

6 陸前高田市総合計画推進委員会について

【企画政策課 及川補佐】

お配りしておりますA4両面の資料、「陸前高田市総合計画推進委員会について」をご覧ください。

こちらの資料につきましては、当委員会の設置の趣旨等を記載しておりますので、後程ご確認をお願いします。

なお、項目4の委員会の結果につきましては、当委員会終了後、市のホームページで、本日の資料と議事録を公表することとしております。

7 議事

【企画政策課 及川補佐】

続きまして次第の7議事となります。

ここからの進行は、設置要綱第7条の規定によりまして、委員長が議長となります。

よろしくお願いいたします。

【菊池委員長】

それでは次第により、会議を進めて参ります。

なお事務局からの説明と、それに対する委員の皆様からのご意見等につきましては、基本目標ごとに区切りながら進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは事務局から説明をお願いします。

(1) 陸前高田市まちづくり総合計画の進捗状況について

【企画政策課 佐藤（説明者）】

陸前高田市企画部企画政策課の佐藤と申します。

陸前高田市まちづくり総合計画の令和 6 年度実施状況等について説明いたします。

（資料 1-1、資料 1-2 の基本目標 2～3 について説明）

【熊谷委員（陸前高田市観光物産協会会長）】

基本目標 2 の基本政策 2 と 3 の関係について、「住みいるリフォーム支援事業補助件数」が順調に推移となっているが、一方で、「浄化槽設置基数」の進捗にやや遅れが出ている。

リフォームと浄化槽の設置はこれが必ずセットで行うというものではないと思うが、リフォームの際に浄化槽へ一緒に変えてしまう、というようなやり方はできないのか。

【菅野上下水道課長】

委員ご指摘の通り、住みいるリフォームの方と、確かに関連をして行う場合もある。

現在のところ、リフォームの際に必ず浄化槽の設置も行わなければならないとはなっていない。

セールス担当事業者の意向等々もあるため、お話や相談があれば、対応して参りたい。

【熊谷委員（陸前高田市観光物産協会会長）】

浄化槽の設置基数の増加に向けて、助成の枠を広げるような政策を行うのはどうか。

【菅野上下水道課長】

助成枠の確保や拡大についても、住宅政策を担当している課と協議、連携を図りながら、検討していきたいと思う。

【石川委員（陸前高田市コミュニティ推進協議会連合会会長）】

基本目標 2 の基本政策 5 にある「博物館観覧者数」について、2023 年から 2024 年にかけて成果指標項目実績値が減ってきているようだが、進捗評価が「A:順調に推移」となっている点について、説明いただきたい。

【千葉教育次長】

「博物館観覧者数」について、2022 年の当初値が 30,020 人となっており、2028 年の目標値を 57,000 人と設定している。

ご指摘の通り、2023 年と 2024 年の成果指標項目実績値を比較すると若干の減少があるが、2028 年の目標に向けては順調に推移しているため、今回の評価とした。

なお、2023 年の来館者数が多い理由として、ロダンの像がやってきたことが要因と思われる。

【石川委員（陸前高田市コミュニティ推進協議会連合会会長）】

2025 年、2026 年の来館者数の見通しはどうか。

イベントの予定などはあるか。

【千葉教育次長】

2025 年につきましては、2025 年 1 月末から 3 月にかけて、重要文化財の展示を予定している。

日本遺産であるみちのく GOLD 浪漫に関係した展示であり、重要文化財等 4 点の展示を予定している。

現在実施している企画展については、被災した美術品の展示を今月の 15 日から行っている。

【山本委員（一般公募）】

「橋梁長寿命化対策」について、2028 年度の目標が 63 橋となっているが、現状の進捗が発注済み 2 件合わせても 31 橋であるため、今後の見通しについてご教示いただきたい。

【伊藤建設課長補佐】

5 年に 1 回行うという国の法定点検の規則に基づいて検査を行っており、橋梁長寿命化対策が必要な橋や、様子を伺うべき橋など、市内には多様なパターンが存在する。

国からの補助があまり付かない現状や、物価高騰の波によって進捗が進んでいないが、早急な長寿命化対策が必要な橋は現状無いため、緊急性と予算を踏まえて、随時対応していく。

【大林委員（陸前高田市国際交流協会会長）】

基本目標 1 の「地域の特性やコミュニティ活動を生かした協働によるまちづくりを推進する」について、各推進協議会が抱えている、課題の傾向などをお聞かせいただきたい。

【馬場まちづくり推進課長】

やはり担い手や運営主体の確保に苦慮しているという意見を多く伺う。

市としては、コミュニティへの支援を引き続き実施していくため、問題の洗い出しをしつつ、自治会や町内会とも協力しながら検討を深めていきたい。

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 3 について説明）

【高橋委員（一般公募）】

資料にはないが、個別避難計画について、現状市内で何人ぐらいの方が個別避難計画を作っていて、現在どんなことが課題になっているか、ご教示いただきたい。

【白井福祉課長】

個別避難計画について、数字を持ち合わせていないため正確な数はこの場でお答えできないが、計画の作成件数は少ない状況にある。

【高橋委員（一般公募）】

個別避難計画の策定にあたって、一番困っていること、検討していきたいということがあれば教えていただきたい。

【白井福祉課長】

要支援者の申請と個別避難計画の申請が別々に行われていた。

現在はその両方を 1 つの様式で申請できるようになっているため、こういった申請者の負担を減らす方法を引き続き模索していきたい。

また、個別避難計画では自分の支援者等を指定しなければならないため、ご相談等あれば適宜お声がけいただきたい。

【石川委員（陸前高田市コミュニティ推進協議会連合会会長）】

基本目標 3 の基本政策 7 「消防団員数」について、市内の事業所などから複数人は消防団への加入を強制させると言ったような取り組みがあってもいいと思うがどうか。

【及川消防長】

引き続き、事業所訪問等による呼びかけ活動を通して、団員を増やしていきたい。

強制での加入を義務づけるという点については、なかなか厳しいと思われるが、団員数の確保に向けて注力していきたい。

【種坂委員（一般公募）】

基本目標 3 の基本政策 9 「防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する」について、「刑法犯発生件数」が 2023 年は 36 件、2024 年は 17 件となっているが、こういったことが原因なのか。

【馬場まちづくり推進課長】

「刑法犯発生件数」につきましては、岩手県警のホームページ及び大船渡警察署からの情報共有という形で把握している数値のため、直接的な原因については市では認知していない。

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 4 について説明）

【高橋委員（一般公募）】

基本目標 4 について、4 つほど質問したい。

1 つ目として、「学校不適応による長期欠席児童生徒（病気等を除く）の割合」について、進捗評価が「E:進捗に大幅な遅れ」となっているが、今後の取り組みについてご教示いただきたい。

2 つ目として、「いじめ解消率」について、取り組み実績の「いじめ対策協議会」とは具体的にどのような取り組みを行っているのか、ご教示いただきたい。

3 つ目として、「『自分の住む地域に愛着がある』と思っている児童生徒の割合」について、スクールカウンセラーによる学級づくり研修会の内容を教えてください。

4 つ目として、「地域学校協働活動ボランティア参加者数（年間延数）」について、ボランティア統括コーディネーター同士の意見交換の場ではどのような話が出ているのかご教示いただきたい。

【吉田学校教育課長】

1 点目について、長期欠席児童生徒の割合が増加傾向にあり、記載している通り児童生徒連絡会議を開催している。

この会議の回数を増やす、一人一人に寄り添った支援方法の模索を、各生徒の個別ケースに応じながら引き続き実施していきたい。

2 点目の「いじめ防止等対策協議会」に関して、現在の学校のいじめ等の状況を共有したり、関係機関からの情報共有しながら、そこで話し合われた内容を各学校に情報提供し、学校の中でいじめ対策協議会をさらに開いていただくことで、いじめの早期発見と早期解決に努めている。

3 点目のスクールカウンセラーによる学級づくり研修会につきましては、こちらは、地域に愛着があると思ってる児童生徒の割合を増やすための対策として、直接的ではないが、先生を対象とした研修を行うことにより、学級づくりの充実化を図り、さらに郷土愛を育むことに繋がっている。

【千葉教育次長】

4 点目の、地域学校におけるボランティアの意見交換について、ボランティアのコーディネーターさんを各学校に 1 名程度ずつ配置をしているが、学校や地域によって特色が異なるため、ボランティアの内容や体験活動の内容に差がある。

それを統括コーディネーターの指導のもと、一堂に会してお互い教え合うことによって、指導力のレベルアップを図っている。

【高橋委員（一般公募）】

吉田学校教育課長がお話しされた、学校の中でいじめ対策協議会を再度開くという点について、事例として提示できる成果があればお話ししたい。

【吉田学校教育課長】

早期にいじめを発見するという重要性を対策協議会の中で共有できており、速やかな対応体制を構築できていることが一定の成果だと考えている。

【伊藤委員（特定非営利活動法人きらりんきっず代表理事）】

基本目標 4 の基本政策 12「出生数」について、進捗評価が「D：進捗に遅れ」となっているが、評価への考えをお聞かせいただきたい。

【吉田福祉部次長】

目標値に対して大分遅れをとっているが、取り組み実績のとおり、対策や事業展開を行っている。

そちらの方の達成度というのも含めて今回の進捗評価とした。

【伊藤委員（特定非営利活動法人きらりんきっず代表理事）】

お子さんを育てている家庭に対して、支援や補助を増やす、当市独自の施策をプラスする、といった対応をいただければと思う。

【吉田福祉部次長】

ご意見をいただき、ありがたく思う。

引き続き、各部署ともに連携しながら施策を講じて参りたい。

【荒澤委員（陸前高田市地域女性団体協議会会長）】

男性の産後鬱について、女性の場合には取り上げられることが多いが、男性が産後鬱になるケースが増加している。

何かしらの対策を講じていただければと思う。

【吉田福祉部次長】

ご意見をいただき、ありがたく思う。

男性の育児休暇取得率も高くなってきているため、男性が抱える子育てに対する悩みなどが今後顕在化してくるのではないかと考えている。

男性に注目した支援の展開について、検討して参りたい。

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

いじめに関して、いじめの件数とどこからがいじめになるのか、定義等について教えていただきたい。

【吉田学校教育課長】

いじめの件数に関しては、数字を今日持ち合わせていないため、この場ではお答えできない。

いじめの定義については、法律による規定があり、被害者が苦痛だと感じたものは全ていじめと認知している。

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

件数と内容だけを材料に検討するだけではなく、いじめが起きた理由にも着目した上で、対策等講じていただきたい。

【吉田学校教育課長】

おっしゃる通り、聞き取りを実施し、その事実関係をはっきりさせた上での対応を心掛けている。

引き続き、子供たちが安心安全な学校生活を送れるよう、対応して参りたい。

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 5 について説明）

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

市民の健康づくりづくりを推進するという基本政策 18 について、これはどのようなことを考えているのか。

【吉田福祉部次長】

市民との健康づくりということで、保健の分野からお答えする。

ともに支え健康に暮らすということに関して、市職員だけではなくて、地域の皆様と

ともに健康づくりの推進を考えており、健康祭りや保健推進員との協力のもと、各地域での健康教室、健康講座等を開催している。

また、はまかだスポット数の増加により、人と話す、悩みを共有する、という場を設けることで、心の健康も推進していく。

【村上商工交流部長】

スポーツの部分に関して、運動公園等の施設が整ったことで、スポーツ協会の職員が中心となり、様々なスポーツ教室を開催している。

数多く教室を開催し、自分が楽しめるスポーツを探してもらうことで、健康づくりに役立てていただきたい。

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

夢アリーナのトレーニングルームについて、老人クラブとは限らないが、「年寄りの日」というような日にちを決めていただきたい。

要望として、お願いしたい。

【高橋委員（一般公募）】

ユニバーサルデザイン認証を受けた店舗について、進捗に遅れということだが、遅れている理由と今後の対応についてご教示いただきたい。

【高橋土地活用推進課長】

ユニバーサルデザインの対応について、再建される店舗への導入数は増加傾向にあるが、新たにユニバーサルデザインに対応した店舗という点においては、物価高騰等の理由により、進捗に遅れが出ている状況にある。

引き続き周知を図るとともに、補助金のあり方についても、内部で検討していきたいと考えている。

【高橋委員（一般公募）】

承知した。

やってくださいというお願いベースではなく、私たちもできることがあればやっていきたい。

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 6 について説明）

（質疑等なし）

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 7 について説明）

【蒲生委員（人権擁護委員）】

基本政策 29 の「宿泊者数」について、目標 7 万人に対して、2024 年の実績が 4 万 2,352 人となっていることから、「C：進捗にやや遅れ」という判断をされていると思う。

宿泊者を増やすため、現在ドーマーインホテルの整備工事が進められているようだが、ホテルの開業見込みというのが分かるのであれば、お示しいただきたい。

【村上商工観光課長】

ドーマーインホテルについては来年夏ごろのオープンを目指して整備を進めている。

【蒲生委員（人権擁護委員）】

当市の観光状況を考えたときに、夏がピークで冬は非常に厳しい状況になっているところだが、高校野球においても強い高校が 2 月ぐらいに合宿を行い、そのまま甲子園に行くというような動きがある。

雪のないこの地でのスポーツ合宿は魅力だと思われるので、今後宿泊施設も完備され、広田の野外活動センターとの連携によって、宿泊を呼び込むというような施策はどうか。

【村上商工交流部長】

委員ご指摘の通り、合宿についてはここ数年伸びている状況にある。

整備された体育スポーツ施設を有しているという利点が当市にはあるため、合宿誘致を強化しつつ、宿泊割の補助事業の制度化などによって合宿数の増加に取り組んでいきたい。

【伊藤委員（特定非営利活動法人きらりんきっず代表理事）】

やはりアワビ、カキ、ホタテなどは需要もあり、当市の特産品となっているが、海水温の上昇により採れにくくなっていると聞く。

水温が高くなった場合の特産品の研究などは行っているのか。

【石川水産課長】

夏の高水温に耐性のある特産品について、県の方で高水温に対して比較的辛抱強いアサリの試験的養殖を始めている。

当市においても、イシカゲガイの養殖について、現在試験を行っている。

【伊藤委員（特定非営利活動法人きらりんきっず代表理事）】

三陸のわかめなどとても美味しい。

子供たちに未来を残すような海になっていったらいいと思う。

【山本委員（一般公募）】

基本目標 7 の基本政策 27 について、かさ上げ地の利活用のために周知活動としてパンフレットを配っているとしているが、それだけでは伸びないと思う。

会議を通じた企業誘致であったり、何かイベントに参加している、具体的にここに声をかけているなど、教えていただきたい。

【高橋土地活用推進課長】

かさ上げ地に進出する企業に関して、どういった企業であれば進出できるのかという市場調査を行い、該当した企業には実際に訪問して情報収集等行っている。

パンフレットについては、主に住宅メーカーを中心として置いていただいている。

【蒲生委員（人権擁護委員）】

民泊の受け入れを行っているが、基本目標 7 の基本政策 29 「観光入込客数」について、民泊の受け入れ数とは関係はあるか。

【村上商工観光課長】

この宿泊者数には、民泊でお泊まりになっている方の人数は含まれていない。

市内にある宿泊施設、民宿等の資格を持った施設へ泊まった方の数を掲載している。

【蒲生委員（人権擁護委員）】

陸前高田市はかなりの民泊数を受け入れている。

3,000 人～4,000 人が年間を通して訪れており、スーパーマーケットや温泉施設の利用など、かなりの金額が動いている。

「観光入込客数」に含んで算定できないか。

【村上商工交流部長】

委員のおっしゃるとおり、宿泊者数はかなりの数と認知している。

民泊業と宿泊業の区別上、宿泊業として営業している施設と同じであるとしてカウントすることは難しい。

民泊については庁舎内でも連携を図りながら進めていきたい。

【蒲生委員（人権擁護委員）】

民泊をやっていない市民の方々にも、陸前高田市は民泊に力を入れていると伝えるために、民泊事業について計画に入れることはできないか。

【村上商工交流部長】

計画の途中で変更が可能であれば、新たな指標の1つとして、民泊の受け入れ数の導入についても、観光者数のカウント等のルール of の都合もあるので、内部での検討を進めていく。

【企画政策課 佐藤（説明者）】

（資料 1-2 の基本目標 7 について説明）

【種坂委員（一般公募）】

基本政策 32 の市の公式 SNS におけるフォロワー数について、現在は Facebook 等ほとんど使っていない方も多いと感じる。

Instagram など、若い人が活用する SNS は積極的に運用していくべきであると思うが、アカウントの開設予定など教えていただきたい。

【黒澤企画政策課長】

委員ご指摘の通り、Facebook については、年齢層が若者よりも上の世代の方が使っているという現状にあり、閲覧者数も減少傾向になっている。

一方で X であったり、LINE の公式アカウントについては毎年度登録者数等が伸びている状況にあり、若者層に主に登録をいただいているとも感じている。

自分で情報を取りに行くよりは、自動の通知によって情報を得る、という使い方が主流かと思われるので、Facebook よりも X や LINE、または先ほどご指摘いただいた Instagram の利用についても、公式アカウントとして運用できないかどうか内部で検討している段階である。

引き続き、様々な媒体を使って、情報発信の充実化を図っていきたい。

【山本委員（一般公募）】

基本目標 8 の基本政策 33 「利便性の高い行政サービスを提供する」について、公共無線 LAN の整備箇所数のことが触れられているが、稼働しているかどうかのチェックなど、行っているのか。

コミュニティホールもそうだが、市内の公共施設等、インターネットに接続できない所がいくつかあるように感じる。

【馬場まちづくり推進課長】

公共施設の無線 LAN は、市内の避難所、いわゆるコミュニティーセンター等々に設置されているものであり、災害時に開放になる無線 LAN となっている。

よって平時においては繋がらず、災害が発生した際に、キーが解除になるという仕組みになっている。

機能としては無制限ではなく、例えば 50 人枠、80 人枠という枠組みの中で稼働するため、込み具合によっては繋がらない、という状況もあるだろうと思う。

~~~~~

【馬場まちづくり推進課長（回答訂正）】

コミュニティホールは公共施設の無線 LAN は設置されておりますが、使用する部屋に応じて使える場所とそうではない場所がある。

使用できる場所については、壁面に案内を促す貼付物があるため、参考としていただきたい。（大会議室及び集会室は使用可能、それ以外は使用不可能）。

機能としては無制限ではなく、例えば 50 人枠～80 人枠という枠組みの中で稼働することから、込み具合によっては繋がらない、または繋がりにくいという状況もあるため、ご注意いただきたい。

また、避難所として指定されている各地区のコミュニティセンターには全て無線 LAN が設置されており、案内を促す貼付物が室内等に掲示してあるため、活用いただきたい。

~~~~~

【山本委員（一般公募）】

要望であるが、例えば、近隣の市町村だと平時から使えるような状況になっているため、災害時対応のみ開放となるのであれば、その記載をどこかに入れていただきたい。

(2) その他

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

ノーマライゼーションについて、説明いただきたい。

市長と老人クラブ連合会で懇談の場を設けたのだが、「市の職員からこのようなことを言われた」と議題に挙げていいものか、福祉課の部長や課長に相談しに行った。

その際、包括の女性職員とも話をしていた中で、静かな話の最中だったが突然大きな声で「あなたはどうかのか」と怒られた。

そういうやり方をするのであれば、ノーマライゼーションの意味を本当に分かってやっているのか疑問に思っている。

役所の職員をやっているのであれば、ノーマライゼーションは分かなければならないはずだった。

分かっていないのであれば、資料に「ノーマライゼーションの～」と書いた意味がない。

ノーマライゼーションという意味を役所の職員が分かっているならば、これを書いても構わないと思うが、分からないのにこういうことをされると我々が対応するのに大変である。

そういうような態度をとる人が、職員の中にいるということが私はおかしいと思う。

【千葉総務部長】

非常に不快な思いをさせてしまったということで、まずもってお詫び申し上げる。

ノーマライゼーションという言葉の意味については、本市職員においては非常に認知度は高く、最近では研修会等を行っている。

加えて、委員よりご指摘いただいた内容については、ノーマライゼーションというよりは一般的な職員教育の部類だと思われるので、来庁される市民に対して、職員同士ももちろんであるが、真摯に対応していきたい。

【岡田委員（陸前高田市老人クラブ連合会会長）】

いずれにしても職員は入れ替わっていく。

新しく入った職員に対して、ちゃんと教育を行っているのか、ということが重要だ。

老人クラブでさえ、ノーマライゼーションの勉強をしようと講師を呼んでいる。

「これはこういう方にやる」というような教育だけではなく、「こういうことには気を付けてくださいよ」というような教育を、まず第1にすべきであると思う。

【千葉総務部長】

職員教育について、新たに市職員となった者を対象に、市や県が主体となって行う新任採用職員研修や専門研修を実施し、接遇研修などを通して理解を深めている。

また、今年度からは一般の民間企業などにもご協力いただき、研修の場を設けるという取り組みも行っている。

【菊池委員長】

その他、意見などはあるか。

（意見、発言等なし）

議事については終了とする。
進行を事務局へお返しする。

8 その他

【企画政策課 及川補佐】

次第 8 その他でございます。

全体として、委員の皆様から何かご意見等はございますでしょうか。

(意見、発言等なし)

本日いただきましたご意見等につきましては、今後の事業推進の参考とさせていただきます。

それでは以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。

委員の皆様におかれましてはお忙しい中お集まりいただきまして、様々なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。